



# 研修センター通信

Vol. 27

平成28年1月14日  
発行：教育研修センター

## <今後の予定>

18日(鈴木大、大塩)  
感染医安対策委員会

21日(全員)  
特別講演  
東京大学泌尿器科外科学  
教授 本間之夫先生

22日(全員)  
病診連携懇親会

23日(申込者)  
ICLS講習会

24日(挑戦者)  
リバティー駅伝

26日(全員)  
医安対策講習会

28日(大塩)  
診療部会議

2月1日(全員)  
藤枝学術カンファ特別講演  
浜松医科大学第一内科  
准教授 杉本健先生

3日(1年次全員)  
厚生局新規登録保険医  
集団指導

3日(2年次全員)  
臨床能力評価試験

※ポスター等で日時を確認してください

※研修医の代表が出席するものは、出席後、全研修医に伝達すること

研修医二年次 鈴木 大介

## 「研修医よりひびくつや」

研修医二年次 杉山 洗裕

2014年4月に藤枝市立総合病院での初期研修を始め、もう2年目の終わりに近づきつつあります。スーパーローテートの中でそれぞれは短期間の研修ではありましたが、徐々に成長していくことを感じつつ、自身の進路について考えてきました。どの診療科においても興味を持ってましたが1年時の後半には外科医になると決め、他の診療科の診療の知識を深めつつ、外科について勉強もする1年間でした。

上級医、指導医の先生方を始め、コメディカルの方々にもお世話になり、現時点でも自身の成長とともに未熟さも感じています。来年度も10月より藤枝市立総合病院で働くことが決まり、戻ってきた時には一回りも二回りも成長してもいいから頑張ります。



こんにちは、患者さんの見当識を確かめようと僕の職業を尋ねたところ、「ヤクザ」と言われた研修医2年目の鈴木大介です。私は奨学金の関係で、当院で初期研修をさせて頂いてきました。研修開始当初、2年は長いと思っていました。3ヶ月を切りました。今思うとあっという間であり、もっと真剣にもっと真面目に研修していればデキレジになれたかもしれないと後悔しながら、レポートの締め切りに怯えている今日この頃です。

2年間を振り返ってみると、辛いこともありましたが、楽しいことの方が圧倒的に多かったです。研修医なのに37歳と年をとっており、ほんの少し顔が怖く見えるらしく、指導してくださる先生方や研修医の先輩方もやりにくかったと思います。皆さん普通に接してくださり感謝しています。また、面白く頼りになる同期、先輩にも恵まれ、本当に充実した毎日でした。今まで指導してくださったすべての先生方、すべてのスタッフの方々、2年間ありがとうございました。私は4月から浜松医科大学の形成外科で勤務します。奨学金の関係でまたすぐに戻ってきます。次に皆さんにお目にかかるときは、形成外科医として頑張りますので、よろしくお願います。藤枝市立総合病院で研修できたことを誇りに思い、2年間で学んだことを今後の医師としての人生に生かしていきたいと思います。ありがとうございました！

## 症例レポート提出状況を見える化

### 計画的に提出を!!

初期臨床研修における到達目標として32の症例レポートの提出が必須ですが、例年に比べ提出がスローペースです。そこで、研修医室に各人の提出状況を見える化し、定期的な目標数を定めました。纏めての添削は指導医の先生方にも負担をかけることになり、初期研修終了間際に慌てることのないよう、各人定期的計画的に提出しましょう。



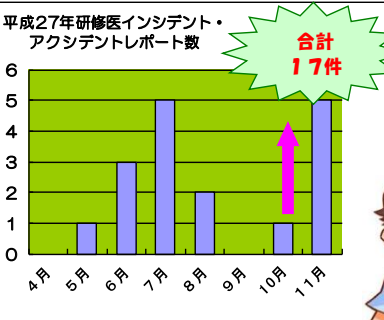
## 医療安全管理室より

「インシデント・アクシデントレポート」を共有しよう!

### 処方に関するインシデント5件(～11月)

研修医レポートより

分類	内容
重複処方	表示期間設定が～当日であったため気づかず処方。疑義照会で指摘。
禁忌薬投与	緑内障にピルフェネドリン投与、救急処置のため問診スキップ。
禁忌薬投与	2型糖尿病、CKDの患者。Ccrは34であったがベザフィブラート処方。Ccr50未満に対しては原則禁忌。担当薬剤師から指摘。
処方忘れ	ラビックス処方オーダーしたが、保存されず投薬されていなかった。
処方量間違い	感染予防用ワクチン配合錠を1錠処方するはずが4錠した。処方歴からのコピーで内容を確認しなかった。



医療安全管理室



藤枝市立総合病院

検索